

# 光鯨会だより

第23号 [平成29年12月]  
発行 | 光鯨会会長 小野 徹郎 (S43)  
本部長 | 井戸田 秀樹 (S58)  
連絡先 | 夏目 欣昇 (H5)

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大学 社会工学科 建築・デザイン分野内  
Mail | koukokai@archi.ace.nitech.ac.jp Tel | 052-735-7967 HP | <http://koukokai.jp/home>

## 1 | 卒業生は今

□本部

内藤 克己 (S43) 名古屋工業会常務理事



現在、名工大全学同窓会の名古屋工業会の常務理事をさせて頂いています、光鯨会本部幹事のS43年卒(小野会長と同期)の内藤克己です。名古屋工業会の常務理事は、建築学科OBとしては約50年ぶりです。私は、S20年満州奉天生まれで、引揚後、学生時代は名古屋で過ごし、大学卒業と同時に清水建設に就職し、65歳まで勤務、主に現業(施工)に所属、九州や名古屋・静岡で勤務、18回の引っ越し後、名古屋支店内勤になり、開発営業部長として、都市開発と技術開発を担当し、愛知万博やセントレア等の大型国家プロジェクトにも参画しました。

定年後は、愛工大大学院や名古屋造形大学他の建築講座を担当させて頂いたり、建築学科の同期の神谷孝司氏が立ち上げた建築関連の資格学校である総合資格(今や日本の合格者の過半を占有する)で30年間学科講師や顧問をさせて頂きました。又、愛工大の企業防災担当者の育成講座「防災マイスター講座」の建築防災論講師や、愛知県内の企業防災組織である「あいぼう会」の運営委員長を担当し、昨年は10年の活動を評価頂き防災功労者内閣総理大臣賞を頂きました。

□関東支部

大島 穰 (H12) 鹿島建設(株)

2002年に入社し、構造設計に従事し、今年で16年目を迎えました。入社して最初の3年間は本社建築設計本部に所属し、その後小堀研究室へのローテーションを経て再度建築設計本部に戻り5年間主に業務施設の設計に携わりました。その後5年間、関東支店に在籍し、再び建築設計本部に戻り今日に至ります。関東支店に異動したのは2011年4月で東日本大震災の直後でした。支店異動後に余震が続く中、震災被害調査をしました。

茨城県鹿行地区の調査では津波の影響で、コンテナが内陸部まで打ち上げられ、液状化の影響でマンホールが浮き上がり、道路が凸凹な中、徐行運転で現地調査に向かいました。



現在、常務理事として、大学の各種行事(卒業式や入学式他)に出させて頂いたり、全国22支部の総会に本部役員として参加するため、北海道から九州まで飛び回っています。名古屋工業会は入学時に終身会員にほとんどの学生がなっており、将来は、ほとんどの卒業生が、工業会会員となりますので、データベースの整備、魅力ある活動構築が重要課題となっています。又、現工業会館が耐震診断の結果、I S値0.3しかなく早急な耐震補強か、建替えが必要で、夏目研究室の提案も踏まえ検討中です。微力ですが、今後の母校の発展と同窓会の発展に全力を尽くしたいと思っています。

最後に、趣味は世界遺産巡りで、50歳から、毎年、世界文化遺産巡りに行っていますが、建築に携わって来た経験から、数百年から千年を超え、存続し、今も人類の宝となっている文化遺産の前に立つと、発注者、設計者、施工者の思いや情熱を感じ、全身が震える感動を味わっています。訪ねた国は26ヶ国、65都市、直接見た世界遺産は100を超えました。これからも感謝、感謝の気持ちで活動を続けたいと思います。



チベット・ポタラ宮 高度約4,000m

関東支店在籍時には平成26年豪雪による建物崩壊や平成27年9月関東・東北豪雨による鬼怒川堤防決壊等の自然災害に直面しました。東日本大震災後では大規模空間の天井落下被害が多く見られたこともあり特定天井について規定され、平成26年豪雪後には積雪荷重の割増が規定されました。構造設計は自然外乱との戦いであることを再認識させられました。

現在はハウジンググループに所属し超高層マンションの設計に従事しています。忙しい日々ですが勤続15年で取得したりフレッシュ休暇を有意義に使いたいと思います。



## □関西支部

### 中山 益蔵 (S52) あお建築設計+アイギャラリー

設計事務所の活動として、今年の竣工は、RC造のワンルームマンション、バス停の上家、オフィスインテリア、鉄骨造住宅、木造住宅及びマンションのインテリアなどです。現在工事中はRC造のペットと暮らす有料老人ホーム、鉄骨造の本社オフィス兼工場です。設計中は、マンションの大規模改修、廃棄物分別作業所、オフィスビルの耐震改修、病院の改修。提案や計画は、木造平屋の保育所、保育所併設の本社社屋、ショップ、ショールームギャラリー、工場内の建屋。その他、定期報告業務、構造や工法アドバイス、コスト管理コンサル。構造も用途も立場も様々な形で業務をしています。31歳の時に具体的な計画もなく、個人設計事務所を初めて32年経ちました。事務所スタッフも能力が高くなり、3年前に会社組織にし、共同で事務所を運営しています。構造設計委託や工事で同窓生と協業することも多くあります。

20年程前に近畿大学



事務所外観

の芸術学科で非常勤講師をするようになり、その後、環境工学科・芸術系短大・専門学校など多い時は同時期に3校で教えていましたが、現在は、後期の1講義だけの担当になり、少し時間的余裕が出てきました。

15年程前に旧事務所の一角でギャラリーを始め、現在地に移転時に、1・2階に3室の展示室を設け、設計事務所部分より広くしました。企画展を開催し、貸しギャラリーで活用して頂いています。絵画・染織・ガラス・陶芸・ジュエリーなど多くの作家のエネルギーに刺激されて過ごしています。アートが日常的で、ごく普通に建築に取り込まれたらとの願いをしています。



1階ギャラリー展示風景

## 2 | 光鯨会は今

### □全国大会報告

#### 松田 浩司 (S60) 光鯨会本部副幹事長/大成建設(株)

本部では、10月28日、工業会のホームカミングデーに合わせて、夕方から全国大会（懇親会）が開催されました。

冒頭、高木本部幹事長の開会の辞にはじまり、小野新会長の就任のご挨拶にて、『卒業生が輝き、そして大学が輝く』ための、現在、今後の光鯨会のあり方と、会費納入率アップのお願いについてのお話がありました。

懇親会は、浦野様の乾杯のご挨拶ではじまり、井戸田本部長から大学の現状報告がありました。

その後、名古屋市の横井幹事から、名古屋市の久屋大通の再生についてパワーポイントを使ってわかりやすく説明していただきました。



関西支部から岡崎様に参加していただいておりますので、ご挨拶をいただき、参加者の皆さまへ、今

以上の光鯨会への参加・協力に加え、工業会への参加・協力の要請があり、建築業界だけでなく、他業種との人脈づくりを積極的にしてほしいとお話があり、その後も和やかに参加者の会話がはずみました。

最後に、12月で退官される河田教授から中締めのご挨拶をいただき、無事閉会しました。

しかしながら大会への参加者は30名前後と、少し寂しい会となりましたので、閉会后に、次回の全国大会のあり方、工業会との連携の仕方、など今後の課題としていきたいとのご意見がありました。





## □秋の見学会報告

岡 潤和 (H5) (株)中建設計

毎年恒例となっております「秋の見学会」の報告です。この見学会は名古屋工業会名古屋支部の主催で行われ、名工大の他の学科のOB・OGの方々も参加されております。今回は静岡県の浜名湖周辺に行ってまいりました。

当日は台風21号が近づいていたこともあり、天候が心配でしたが、小雨程度ですみひと安心。

さて、最初の見学地は、気賀にある「大河ドラマ館」です。気賀は姫街道の宿場であり気賀関所がある要害の町です。NHK大河ドラマ「直虎」ゆかりの地として有名になりました。ドラマ館では気賀港のスタジオセットを3D体験できたり、ドラマの世界を楽しみました。

次は浜名湖「館山寺サゴロイヤルホテル」にて昼食です。豪華な料理にお酒もすすみ、皆さん会話もはずみます。



私も先輩のお話を伺いながら少し飲み過ぎてしまいました。食事のあとは浜名湖を一望できる展望風呂へ。

あいにくの天気ですが、遠くまで絶景を楽しむことができましたが大変気持ちのいいお風呂でした。

おなかも心もすっかり満足した後で向かったのは「ホンダ」の創業者、本田宗一郎氏の生まれ故郷にある「本田宗一郎ものづくり伝承館」です。昔のスクーターが多数展示されており、懐かしくもあり、逆に新鮮でもある貴重な体験ができました。



最後は「浜北スイーツ・コミュニティニコエ」にてお買い物です。スイーツの複合型施設ですが、インテリアやランドスケープもデザインされており、建築的にも非常に面白い建物でした。

最近では、夫婦で見学会に出席される方が増えたように思われます。私も今回初めて妻と二人で参加をし、来年も参加したいと言ってもらいました。豪華な食事など参加費以上の価値があり、かなり満足いただける見学会ですので、ご家族を誘って来年は気軽に参加してみたいはいかがでしょうか。

## □OB・OG交流会の報告

平林 聖尊 (H18) (株)竹中工務店

12月5日に光鯨会本部第12回OB・OG交流会が名古屋工業大学で開催されました。学部3、4年生、大学院生を対象に、OB・OGから仕事の内容や職場の様子、就活のアドバイス等を紹介し、今後の進路の参考にしてもらうことを目的として毎年開催されています。12回目の今回は60名を超える学生が参加しました。

第1部は先輩からのガイダンスとして、5名のOB・OGの方に建設会社、設計事務所、発注者、ハウスメーカー、プロダクトデザインの様々な立場から仕事内容や勤務状況等について紹介していただきました。

- 松井 健さん (H17卒 鹿島建設)
- 松本拓也さん (H24卒 伊藤建築設計事務所)
- 松本浩明さん (H19卒 トヨタ自動車)
- 初山恵莉さん (H19卒 トヨタホーム)
- 山本浩司さん (H26卒 村田機械)

事例を交えた仕事内容の紹介やここでしか聞けない経験談に、学生たちもメモを取りながら真剣な眼差しで聞き入っていました。

第2部は52号館ゆめルームに場所を移し、懇親会を行いました。事前に配布した参加OB・OGのプロフィールを参考に、お目当てのOB・OGに話を

聞きに回る学生の姿が多く見られ、大いに盛り上がりました。今後も継続して開催していきたいと考えています。



第1部 先輩からのガイダンス



第2部 懇親会

## □関東支部だより

工藤 利昭 (S61) 光鯨会関東支部長 / 鹿島建設(株) 構造設計統括グループ



今年の関東支部最大のトピックである「名古屋工業大学建築系ネットワークキャンパスin Tokyo 2017」を報告いたします。9/7(木)~9/9(土)に開催し、学部3年生8名、修士1年生4名の12名が参加されました。

4回目の今年から、大学主催(教育支援)・関東支部後援(企画運営)が明確になり、参加者は大学から単位を認定されることになりました。

1日目の開所式では鶴飼学長からビデオメッセージが寄せられ、若山先生と山下設計田中社長のご講義の後、「名工大の建築五原則」と題し、先生方・OBを交えて、活発な討議が行われました。



2日目は米澤さんから「建築のオリジナリティ」、菅野さんから「構造デザインのあり方」の講義があり、午後はOBが担当した清水建設本社ビルと御茶ノ水ソラシティを見学させていただきました。

3日目は「現代のビッグネス／日本一の高層大規模建築@八重洲」と題し3チームに分かれての設計演習があり、プレゼンテーションの後、先生方と業界を代表するOBによる講評会が行われました。ご支援いただいた皆様に感謝申し上げます。

〒107-8502 東京都港区赤坂 6-5-30  
鹿島建設(株) 建築設計本部 (03-6229-7229)  
支部長 工藤利昭 (S61) 副支部長 鈴木孝彦 (S59)  
副支部長 恒川真一 (H02) 連絡先 大島穰 (H12)

## □関西支部だより 一支部長ご挨拶と総会・見学会の報告

宮本 和則 (S55) 光鯨会関西支部長 / (株)京都建築事務所

今年度の関西支部総会が10月14日(土)に宝塚で開催されました。まず12:00から子授祈願・安産祈願で有名な中山寺の五重塔の見学会から始まりました。この塔は400年ぶりに木造で再建され、今年3月30日に落慶法要が営まれたものです。当日は小雨が交じる生憎のお天気にも関わらず33名の方々が見学会から参加され、構造設計・監理を担当された能勢建築構造研究所の横田友行社長の現地での解説と懇親会場での講演に、熱心に聴き入っておられました。本堂の東方を守護することで青龍塔と名付けられた五重塔は、鎌倉時代に創建された海住山寺の五重塔をモデルに、その約1.5倍の大きさで建立されたとのこと、塔名にちなんで垂木は鮮やかな青、その木口は紫に彩色され、誠に雄渾な姿でした。

本部からは小野会長がお越しくださり、光鯨会の活発な活動を支える財政基盤を強化するために、会費納入率の向上を訴えられました。大学からは市之瀬教授がご参加くださり、母校の近況をご報告くださいました。名古屋工業会大阪支部の支部長でもある岡崎先輩からは、工業会の活動報告とともに他の単科会との交流を積極的に進めたいとお話があり

ました。また卒業後の光鯨会活動への積極的な参加のきっかけとなればとの思いから、例年通り、来春卒業予定の現役生2名をご招待し、今後の抱負をお話いただきました。



関西支部では来年度は役員が交代しますが、引き続き2、4、6、8月の第一金曜日に堂島の中央電気倶楽部で定例幹事会を開催し、講演等も含め有意義で楽しい企画を継続してまいりますので、多数の会員のご参加を期待しています。

〒541-0057 大阪府大阪市中央区北九宝寺町 3-6-1  
(株) 鴻池組 田邊太一 (06-6245-6315)  
支部長 宮本和則 (S55) 副支部長 藤澤繁男 (S53)  
連絡先 (事務局) 田邊太一 (S57)